

1. 準備する物

◆利用者が持参する物

各自で：履き慣れたズックか長靴、長袖、長ズボン
虫よけスプレー

班で：懐中電灯（1ないし2）

◆所で準備する物（希望団体のみ）

地図、手形、効果音「恐怖のBGM」
おばけグッズ



2. 事前に行うこと

- ・ 指導者は日没前の明るい時間（夕べの集いの前後）に、班長とともにコースを下見する。
- ・ 班長はコースや目印を覚えておく。
- ・ 手形を利用する団体は、事前に手形の外枠を手形置き場に置いてくる。
- ・ 指導者の指導担当場所を決めておく。

3. 児童に説明すること

- ・ コースについての概略（下記参照）
- ・ コースの見方（蛍光テープ、手のひらの道しるべ）
- ・ スタートについて（3～5分おきに出発）
- ・ 手形について（置いてある場所、使い方、先生に返す）
- ・ 安全について（走らない、班員がバラバラにならない、用水の橋、到着後に人数の報告など）
- ・ 懐中電灯の使い方（グループの前と、足元を照らし、安全に留意する。）

4. コースについて

◆竹やぶコース（ガレージ横→竹やぶ→用水→手形置き場→杉林→本部）

約30分

◆森の家コース（野外炊飯場→旧営火場→森の家広場[手形置き場]→橋→農園小屋→本部）

※営火場、グラウンドでキャンプファイヤーを行う団体があればコースや時間を変更するなどの配慮が必要。

約30分

◆お宮コース（農園小屋→北陸電力研修センター→電化試験農場→サイクリング道→神社[手形置き場]→墓地→駐車場→本部）

約40分

5. その他

- ・ 月光ハイキングを行う団体が複数の場合は、各コースの本部は団体で相談して決定する。
- ・ 低学年や幼児の場合…班に1名指導者が一緒に付き添って回る。
- ・ 低学年や幼児の場合…班に1名指導者が一緒に付き添って回る。
- ・ 人数が多い場合…順・逆コースで実施。時間間隔を調整する。
- ・ 時間の短縮…コースの一部のみを利用して歩く。

※ 蚊が多いので虫よけ対策をしっかりとしましょう。

※ ろうそくは、火災のおそれがあるので利用しないでください。

